



January.

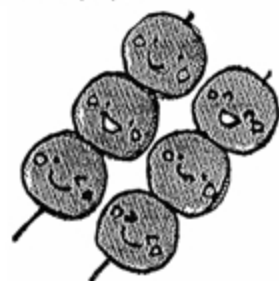
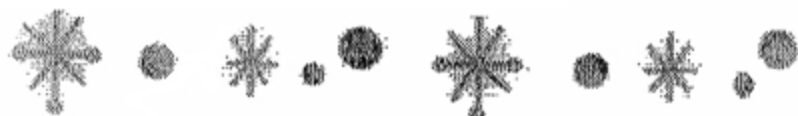
おかむら通信 213号

令和5年1月号

みなさん、新年あけましておめでとうございます。とは言いますが、本当はそれどころではないのではないのでしょうか？ 体力・免疫力・気力・そして食欲さらに睡眠、などそのいずれかが障害されてきてませんか？ 働けど働けど、何かがロスされている。人を大切にする気持ち、誠意、愛を醸成する社会に戻れるとありがたいですね。

最近考えたこと/感じたこと

- 1 帯状疱疹ヘルペス重症例の治療について；できるだけ早く神経ブロックを
- 2 帯状疱疹ヘルペス後神経痛について；あきらめずに治療することにより大分疼痛は緩和されます。
- 3 院長の経歴について なぜ総合診療なのか、；一般外科をベースに、研修医時代ほぼ全科の臨床を学ぶことになった。さらに実践面を学ぶために総合的な内科診療を開業直前に、地方の病院で約半年間学び、一方、重症なケースの多い都立墨東病院などに勤務しながら、臨床薬理、心循環動態、呼吸生理、脳循環、麻酔学を学びました。国公立、私立大学の多くの医者が切磋琢磨する環境に飛び込み、自分の大学の研修医はごく少なく、いわばコスモポリタンの環境でした。
- 4 新型コロナウイルス感染症は皆様が思われているよりもすさまじい勢いで、日本中にひろがって来ています。当院でのPCR検査では90%以上に陽性が出ています。空港でも、飲食店でも、旅行先でも、マスク装着・換気状況の確認が少なくとも大切です。
- 5 当院のヘリカルCT64列は、高性能で撮影時間はとても短く、一方立体画像や多方向からの画像も作れるということは、診断に多角的な視点からより本質的な診断もできるということです。また、みなさんが浴びる線量をなるべく軽減する工夫もしているところであります。
- 6 腹筋運動のすすめ；運動不足になると、全身の筋肉の量も減ってきます。特に腹筋の菲薄化（うすくなること）が目立ってまいります。いつもほどほの運動をいたしましょう。特に年配の方々は、
- 7 高齢の方が増えてきています。どうしても存在する疾病の数が多くなります。隠れた背景要因を無視すると治療がうまくいかなくなるかもしれませんよ。総合診療学の出番です。





8 高齢のかたで、「びんびんころりがいい」「最後に苦しまないで、すーと天国へ行きたい」という人は日頃、医者との共同作業が必要となります。最後まで、無理なく病気と闘いましょう。

9 胃潰瘍・十二指腸潰瘍・逆流性食道炎などの疾病がないのにもかかわらず、腹痛、食後の違和感、張る感じをうったえるかたがおられます。以前から存在していきままでわかりにくかった病気があります。「機能性ディスぺプシア」です。

10 県内でますます神経ブロックを行う先生がへってきています。松戸市内でも麻酔科医の諸事情があるのですが、残念です。

11 先手先手の医療、症状がないときこそあらかじめの疾病予測、それは早ければ早いほどいいのです。たとえば、認知症診断も約5年以上もまえからできるようになれば、どれだけの人が助かるでしょうか。

<院長の12月の活動報告>

- /01 (木) RC ガバナー公式訪問 松戸
- /08 (木) 糸東流空手稽古 北小金
- /12 (月) から/14 (水) 当院MSHCT 64列の整備 日立メデイコTさん
- /15 (木) 当院コンピューター×2・プリンター×2 新規交換作業
- /16 (金) 保険医講習会 千葉県医師会ホームページより 県担当医
- /17 (土) WEB「虐待医学について」 千葉県保険医協会 千葉大助教授
- /22~23 (木・) 太陽光充電装置の改良工事 (自然エネルギー利用のため) 自宅にて
- /29 (木) RC有志と地域の議員とともに 懇談会

先月は、コロナでかき回された年の暮れということで、まず、どすーんとした疲労が現れてきて、かつクリニックの医療機器の改良や院内のひと体制をどうするかなど考えて、WEB講演会がたくさんあったにもかかわらず、勉強する機会が減ってしまいました。

新しい年になり、いろいろな事に
チャレンジして行きたいと思います。
電子ピアノが弾けるよへになりたいです。



担当 森でした。

